

三島救命救急センターが
大阪医科薬科大学病院へ移転



令和4年7月、大阪府三島救命救急センターが、大阪医科薬科大学病院に移転しました。特別救急隊(ドクターカー)の運用も引き継がれ、最新の設備と医療機器の備わった病院で、より高度な救急医療が受けられるようになりました。

市民会館が建て替え
新たな歴史の幕開けへ



市民会館が令和4年7月末に閉館しましたが、いよいよ来年3月、高槻城公園芸術文化劇場の幕が上がります。歴史の趣が感じられる劇場には、北摂最大級のホール、各種スタジオが備わり、市内外への多彩な文化芸術の発信が期待されます。

高槻インターチェンジ周辺
成合南地区がまちびらきへ



高槻インターチェンジの整備を契機に進められてきた成合南地区の土地区画整理事業が来年3月に完了を迎え、まちびらきします。交通結節点の優れた地域特性をいかした企業誘致により、雇用創出が図られ、新たな活力が生まれます。

三好長慶の居城
「芥川城跡」が国史跡へ



令和4年6月、国の文化審議会は、戦国初の天下人・三好長慶が居城した三好山の「芥川城跡」を国の史跡に指定するよう文部科学大臣に答申しました。今後、市内6か所目の国史跡として正式に指定される予定です。

JR高槻駅北駅前広場が
より安全で快適な空間に



JR高槻駅北駅前広場の整備工事が来年3月に完了し、より安全で快適な空間となります。拡張される広場は、駅から屋根付きのデッキ、エスカレーターでつながり、公衆トイレも更新されます。地下には雨水貯留施設が設置され、豪雨災害への備えも強化されます。

高槻島本夜間休日
応急診療所が新築移転へ



来年4月、高槻島本夜間休日応急診療所が、弁天駐車場跡地(八丁西町)に新築移転します。新施設には、駐車場が整備されるほか、感染症患者の専用エリアや待ち人数をインターネットで確認できる機能が導入されるなど、より安心で利用しやすい施設となります。

まちづくり
TOPICS

濱田市政の成果着々と！
多くのプロジェクトが来春完了

News Letter

第20
令和4年10月

新たな飛躍をめざす市民の会

はまだ剛史とともに

輝く未来へ さらなる成長



市長3期目の最終年度を迎えました。この11年余り、高槻市の地域特性や強みをいかし、都市機能の向上、市民サービスの充実に努め、住みたい・訪れたいと望まれるまちづくりを進めてまいりました。

市役所総合センターの展望フロアからは四方に、まちの成長を見ることができます。また、日本の人口減少が続く中、高槻市は令和2年に、子育て世代を中心に転入が転出を上回り、2年連続で人口社会動態がプラスとなりました。

3期目は新型コロナウイルス感染症対策を最優先に取り組みながら、“みらいのための経営革新”と重点施策を着実に推進し、高槻城公園芸術文化劇場をはじめとする多くのプロジェクトが来春に完了する運びとなりました。市民の皆様、事業者の皆様のご理解とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

高槻市は来年1月1日、市制施行80周年、中核市移行20周年を迎えます。先人が築かれた基盤の上に私たちの暮らしがあるように、私たちはより豊かで魅力と活力ある都市を創造し、次世代に継承していかなければなりません。輝く未来を築くため、引き続き、市民の皆様と共に高槻市のさらなる「成長」に向け、全力を尽くしてまいります。

高槻市長 濱田剛史

令和4年度は総額50億円の市独自施策を実施

主な市独自施策

- 生活支援
 - ◆ 市立小学校給食費の無償化(9月から来年3月まで)
 - ◆ 水道料金(基本料金)の無償化(4か月間)
- 事業者支援
 - ◆ 150%プレミアム付商品券の発行(第3弾、第4弾)
 - ◆ 商業団体の感染症対策の支援
 - ◆ 社会福祉法人への応援金の給付
 - ◆ バス・タクシー事業者への応援金の給付
 - ◆ 就学前の教育・保育施設等への応援金の給付
- 感染拡大防止
 - ◆ 入院受入れ医療機関や地域医療活動の支援
 - ◆ ワクチンの接種体制の強化

新型コロナウイルス感染症対策に注力

利用期間

デジタル商品券

令和4年10月17日～令和5年1月31日

紙商品券

令和4年11月1日～令和5年1月31日



令和4年度 重点施策

濱田市長は3期目の最終年度にあたり、「成長」をキーワードに市民生活のさらなる向上をめざすとともに、高槻の輝かしい未来に向けた重点施策の推進に全力を傾注しています。

都市機能が充実し、快適に暮らせるまち

- 富田地区のまちづくり基本構想を策定
- 学校施設のブロック塀を完全撤去、公共施設や民間のブロック塀の撤去推進
- 富寿栄住宅の建て替えを推進
- 市営バスの子育て支援サービスとして、(仮称)かるがもバス(乳児の保護者等の運賃割引)を開始
- 水道施設、下水道施設の老朽化対策・耐震化を推進

安全で安心して暮らせるまち

- 自助・共助力の向上に向け、「市全域大防災訓練」を実施
- (仮称)市民防災協議会の発足を支援し、地域防災力の向上を推進
- 水害に備え、事前に地域の防災行動を時系列に整理するコミュニティタイムラインの策定を推進
- 避難所となる全小中学校体育館への空調設備の設置に着手
- 中消防署富田分署の建て替え、多機能型消防団等訓練施設の整備を推進
- 消防団の処遇改善による団員の確保
- 児童の登下校時の安全対策を推進

子育て・教育の環境が整ったまち

- 富田保育所と富田幼稚園の統合による認定こども園化を推進
- 民間学童保育室の活用による高学年児童の受入れを開始
- 出産後間もない産婦の健診費用を新たに助成
- 第三中学校区でセーフティプロモーションスクール認証を取得し、学校安全を推進
- 学校図書館の蔵書を計画的に増冊
- 質の高い学校教育に向け、コミュニティ・スクール(地域学校協働活動)の導入を推進
- 市立図書館で電子図書館(電子書籍貸出サービス)を導入

健やかに暮らし、ともに支えあうまち

- 国民健康保険の府内統一基準への移行に対応
(未就学児にかかる均等割額の5割軽減措置を導入、特に低所得者の保険料負担の増加に配慮)
- 高槻版の地域共生社会モデルとして、植木団地跡地に「(仮称)福祉ヴィレッジ」の整備を検討
- 誰ひとり取り残さない重層的支援体制整備事業の実施検討
- 地域福祉会館を再整備

魅力にあふれ、にぎわいと活力のあるまち

- 三好長慶の生誕500年記念事業を実施(御城印・武将印の発行、特別展の開催)
- 高槻城公園の整備を推進
- 芥川緑地の公園整備を推進(関西最大級の数の健康遊具を設置)
- 農林産物の生産者による加工・流通・販売等の取組及び商工業者との連携による6次産業化を推進
- 商店街等への事業支援や商工会議所との連携により市内商工業を振興

良好な環境が形成されるまち

- 「気候非常事態宣言」を発出し、環境施策を推進
- エコハウス補助金等により省エネ・創エネ機器設置等を支援
- エネルギーセンターの機能強化(リサイクル施設整備、高効率ごみ焼却発電による売電収入の増加)

地域に元気があって市民生活が充実したまち

- コミュニティ市民会議や各地区コミュニティのまちづくり・防災活動を支援
- 新名神高速道路の高架下を利用したスポーツ施設の整備を検討

効果的・効率的な行財政運営が行われているまち

- ICT利活用を推進(行政手続のオンライン化など)
- 公共建築物の効率的な維持管理を推進

子育て・教育の充実へ “次の一手”

◆中学校35人学級編成を国に先駆けて導入

質の高い教育の推進に向け、平成25年度に府内で初めて小学校全学年で35人学級編成を導入。令和4年度から中学校1年生、令和5年度には中学校全学年で導入します。

◆中学校給食費を無償化

平成26年度から市立中学校で完全給食を実施してきましたが、令和4年4月から中学校の全学年で給食を無償で提供することとしました。

◆全特別教室、体育館に空調設備を設置

小中学校の全特別教室に空調設備を設置。体育館への空調設備の設置に着手し、快適な学習環境を確保します。

◆18歳までの子ども医療費助成を継続(所得制限なし)



将棋のまち高槻へ “攻めの一手”

関西将棋会館が高槻市に移転！

日本将棋連盟の関西将棋会館(大阪市)の誘致が成功し、令和5年度に高槻市に移転することとなりました。日本将棋連盟と高槻市がタッグを組み、世界に誇る将棋文化を次世代に継承するとともに、まちのにぎわい創出に取り組みます。



8月1日から運行開始した市営バス「高槻将棋ライナー」

◆関西将棋会館建設プロジェクトの推進

総額5億円を目標にしたクラウドファンディングを実施し、関西将棋会館の建設を支援します。

◆将棋文化の振興

- ・将棋大会開催や、王将戦に加えて名人戦の誘致に取り組みます。
- ・高槻産木材を使用した将棋駒を小学1年生に配布し、将棋文化のすそ野拡大を図ります。

◆「将棋のまち推進課」の設置

〈新規会員を募集〉新たな飛躍をめざす市民の会

はまだ剛史市長を応援し、本会の趣旨に賛同していただける皆様のご入会をお待ちしています。事務所までご連絡ください。

事務所：高槻市城北町1-14-6 荒木ビル1階 電話/FAX：072-674-1007

はまだ剛史

検索

<https://hamada-takeshi.jp/>



発行責任者：山本政行